

## 相愛大学研究シーズ集

シーズ名	協同する経験を通して相互に高まる幼児の「共有性」と「個別性」 ～教師の援助とのかかわりから～	
所属	人間発達学部 子ども発達学科	
氏名	中井 清津子	
【概要】		
<p>幼児が共有体験を重ね協同する活動へと発展していく過程においては、「共有性」と「個別性」が相互に作用しあって高まっていくことが明らかになった。そのことを前提としながら、本研究においては、「共有性」と「個別性」が高まる過程における教師の援助的な側面に注目し、どのような援助をいつ・どのような方法で行うのかについて分析をしている。方法としては、幼児の観察から、「共有性」のなかで「個別性」が立ち現われてきている遊びの事例を抽出し、これに併せて個々の事例において教師が、どのような意図や願いを持って関わったのか、記述や面談により聞き取る。さらに、援助の内容を分析し、幼児教育の質の向上や、人間関係の育ちへの教師の関わり方について提案し、教師の質の向上につなげたいと考えている。</p>		
キーワード	人間関係・協同性・共有性・個別性・援助・自己認識の高まり	